



6月22日、茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会第2回総会とワーコレのまちづくり報告学習会を開催しました。
私たち茨城ワーカーズ・コレクティブ協議会は、地域に必要な事業を生み出し、一人ひとりが主体となって働けるワーカーズ・コレクティブ運動を進めています。
2013年度は以下の活動を計画しています。

たすけあいワーカーズ作りを支援します

9～10月たすけあい部門研修会・交流会を行います

ホームページを作ります

7月1日開設しました url : <http://ibarakiwco.sakura.ne.jp/>
各会員ワーコレのホームページもできました

働く仲間を募ります

11月 Hello♡ワークin牛久
2月 Hello♡ワークin水戸 を開催します

Hello♡ワーコレを年4回発行します



ごあいさつ

代表 森田 時子

生活クラブ組合員の私たちは、どこか通じ合える価値観を持っています。ワーコレという別物で事業を行っていても公平性や透明性を心がけています。

働くことを考えるとき、ワーコレという働き方も選択肢のひとつにしてほしいです。ワーコレは、まちづくりに参加するひとつの方法です。

会員紹介

名称(ワーカー数、前年度事業高)

牛久ブロック

戸別配送ワーカーズ
はあもにい牛久(17人、2,100万円)
たすけあいワーカーズ
そらいろ(31人、234万円)
編集ワーカーズ
たまた箱(4人、100万円)
牛乳宅配
(株)ミルク宅配便(11人、940万円)
食のワーカーズ
食菜(5人、360万円)
デザインワーカーズ
ピース(3人、50万円)

県央ブロック

戸別配送ワーカーズ
はあもにい県央(17人、1,300万円)
子育て支援ワーカーズ
赤いりんご(10人、53万円)
食のワーカーズ
黄色いりんご(7人、160万円)

取手ブロック

戸別配送ワーカーズ
はあもにい取手(15人、1,500万円)
たすけあいワーカーズ
杜のポケット(11人、21万円)

私たちの住むまちに たすけあいの ワーカーズを つくりたい!

以下のグループが話し合いを進めています。興味のある方は、ぜひ、参加してください。

- ・水戸たすけあいワーカーズ準備会
- ・大きなりんごの木 子育て支援ワーカーズ・コレクティブ 赤いりんご
- ・たすけあいコーディネーター会議 ひたちなか
- ・牛久ブロック チームささえ愛
- ・取手ブロックたすけあい会議

メンバー募集中!



♪ 開催しました!

ワーコレのまちづくり報告学習会

報告学習会には、ワーカーをはじめ地域でたすけあいの活動に関わっている組合員が32名参加し、県外のワーカーズや市民事業を見学してきた団体からの報告をききました。

I いなげビレッジ虹と風(千葉県千葉市稲毛区)

見学者(報告者): 取手ブロックたすけあい会議(阿部よし子さん、黒澤仁美さん)

生活クラブ千葉はこんな街をつくってしまった…。UR都市機構の建替公募に応募し、「なせば成る!」で街づくり。

いなげビレッジは、生活に便利な機能を備えた「虹の街」と、福祉サービスを提供する「風の村」の2つの棟から成ります。「虹の街」にはデポー・惣菜のお店・カフェ・福祉用具のお店・鍼灸院・地域活動スペース、そして虹と風の事業・活動をコーディネートするNPO事務所があります。「風の村」には、デイサービス・診療所・高齢者住宅、そして障害のある子どもたちのデイもあります。いいな、いいな、素敵だな。

デイや高齢者住宅の食事は、もちろんワーカーズ! 茨城にはないデポー(生活クラブのお店)の運営もワーカーズ! 「虹」も「風」も私たちと同じ千葉の組合員の視点で細かなところにも取り入れられて、ワーカーズやNPOが、生きいきと運営、お仕事をしていますよ。もちろん、利用者の皆さんも笑顔でした。

風の村の外観→



↑カフェCache-Cache



→ デイサービスルーム

← ケアセンターあさひ



II ヒューマンサポートネットワーク厚木(神奈川県厚木市)

見学者(報告者): つくば・市民ネットワーク(織田伸子さん、永井悦子さん)

なんともダイナミックな市民事業の興し方を聞かせていただき、代表の又木さんの求心力や行動力には、ただ驚くばかりです。現在16の事業所で年間総額7億8000万円の事業高だそう。でも、スタートは1982年生活クラブ厚木準備支部を128人で始めたことなんですよ。

ネットワーク運動とも大きく関わりながら、まちに必要な事業を生み育てて現在に至るのでしょうが、介護・保育・教室・リサイクルショップ・薬局……うわあすごい!

300人の主に女性が5億円の投資をし、350人の主に女性がコミュニティを豊かにするために働く。「おおぜいの私たち」は、ちよつとずつの資金力とちよつとずつの労働力を出し合ったらいろいろなことができるんですね。私たちの住むまちのコミュニティを豊かにするのは私たちですよ。

←リサイクルショップ



III くらぶメゾン越谷(埼玉県越谷市)

見学者(報告者): 牛久ブロックたすけあい委員会(粟田美奈子さん、東海潤子さん)

茨城でも、もう何年も前から地区館構想はあります。地区館? 各々がそれぞれの漠然としたイメージはあるでしょうが、私たちの住むまちに地区館があったとしたら、それはどんなものでしょうね。

くらぶメゾン越谷は自立型の地区館なのかもしれません。生活クラブ埼玉では、大型班と地区の拠点とを共に発展させ、以下の構想をしました。

- ①生活クラブと、共に設置する団体とのジョイントスポット(厨房、カフェ、惣菜販売、委託販売など)
- ②地域のリビングルーム(組合員スペース、子育てサロン、カフェなど)
- ③地域に開放された荷さばき所(毎曜日60人の組合員を目指す大型班)

地区館は組合員が自由に使えるスペースがあるところ…くらのイメージしかなかったのですから、これは目からウロコ。「生活クラブさん、地区館作って～」と思っていたのは大きな間違いでした。自分たちに必要な事業も生み出すところだったんですね。そして、人が集まる動機や必要性も生まれる。荷さばき所とセットにする。取りに来てもらう。配達する。ごはんを食べる、お茶を飲む、子どもを遊ばせる……。ん〜、「まち」と同時進行で事業所地区館作っちゃえませんか。ちよつと手が届きそうな感じがしました。



↑くらぶメゾン越谷

↓ランチ&惣菜のお店



当日は、どの団体もパワーポイントを使つての報告でした。興味を持たれたものがありましたら、あなたの住むまちで報告会を開いてみませんか? ワーコレ協議会ホームページのお問い合わせページからご連絡ください。